



根 笹

2019

(令和元年)

10月1日

■発行 根笹会 立見賢治
 ■住所 〒379-0116
 群馬県安中市安中3702
 ■TEL. 027-382-4073
 ■FAX. 027-382-4093

新たな元号となりました令和元年、同窓生の皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、今年度の同窓会理事・評議員会（総会）が6月6日（木）マリエール高崎にて開催され、同窓会の名称を変更しました。

旧名称：「新島学園同窓会」を改め、新名称：「新島学園同窓会 根笹会」とします。これは同窓会本部と各地区同窓会の名称を「根笹会」と統一することで連帯感をより深め、同窓会活動の活性化に繋げていく考えです。

さらに、報告事項といたしまして、同窓会報「根笹」を同窓会ホームページにアップするだけでしたが、一昨年母校創立70周年の折に「根笹」の記念号を同窓生全員へ郵送したところ大好評だったので、今年度から同窓生全員へ「学園だより」と共に「根笹」を郵送し、同窓会並びに母校との絆をより深める

ごあいさつ



新島学園同窓会「根笹会」
 会長 立見賢治
 (20期)




2019年度総会より

きつかけにしたいと思っております。なお、広く同窓生の皆様からのご芳志を募り、母校の更なる発展に寄与する同窓会組織に成熟させていきたいと考えています。

今まで以上に同窓生が結束し、力強く母校を支えていく組織にしていかなければならないと痛切に感じているところです。お世話になった母校を守り支えていくのは、私たち卒業生の責任であり喜びでもあります。ご協力よろしくお願いたします。

役員紹介

会長・副会長



会長 立見賢治
20期 高崎市



副会長 中学担当責任者
谷 勝彦
25期 高崎市



副会長 高校担当責任者
静 朋人
32期 安中市



副会長 短大担当責任者
山田中久
26期 安中市

事務局長
星野 伸 樹 (32期)

- 事務局員
- 佐 俣 幹 夫 (28期)
 - 沖 田 恭 子 (28期)
 - 田 中 徹 浩 (45期)
 - 中 村 圭 介 (49期)
 - 小 野 寺 恵 介 (57期)
 - 白 井 杏 奈 (62期)

広報委員会



広報委員長
山田 恵一
37期 安中市



広報委員
田中 美香
29期 安中市



広報委員
大野 晋吾
34期 富岡市



文教委員長
湯本 直也
28期 前橋市



文教委員
武者 利通
20期 安中市



親睦委員長
荻原 昌弘
45期 安中市



親睦委員
吉沢 尚志
26期 前橋市



広報委員
横山 慶一
38期 富岡市



広報委員
高橋 司
42期 下仁田町



広報委員
前田 美佐
43期 高崎市



文教委員
佐藤 光昭
20期 安中市



文教委員
小林 栄郎
25期 高崎市



親睦委員
白田 周一
30期 桐生市



親睦委員
小森 谷 剛
37期 高崎市

苦難は忍耐を、忍耐は練達を、
練達は希望を生む



学校法人新島学園
理事 湯浅康毅

2019年度新島学園中学校・高等学校同窓会根笹会会報『根笹』発刊誠におめでとうございます。

立見会長様はじめ根笹会本部及び各支部の皆様には日頃新島学園へのご協力を賜り、また創立70周年記念事業から生まれた10年ビジョン「NIJIMAGAKUEN GRAND DESIGN 2027：木を育てる。」に関する事業に対しても引き続きのご理解とご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

これまで6年間にわたって新島学園の新しい学びの在り方を実践された岩間秀彬先生が昨年度末をもって退任され、本年度はこれまでの本学歴史の中で初となる国際基督教大学高等学校より古畑晶先生をお迎えし、新島学園の新たな伝統と革新のためにご尽力いただくことになりました。

国際基督教大学（ICU）は戦後まもなく日本と北米のキリ

スト者たちの願いと祈りによって1949年に創設が決定され、人類平和のために貢献する人物を育成するというミッションの元、国内におけるリベラルアーツカレッジとしての伝統と革新を重ねる私学の雄として広く知られております。

国際基督教大学高等学校はICU創立、29年後に同じ理念を継承し、主に帰国子女を受け入れるキリスト教主義の私立高等学校として生まれました。古畑先生はほぼ創設時から関わり、現在文部科学省が指定を進めているスーパードローバルハイスクールの制度が始まる2014年の遙か前にその先駆けとなるモデルケース作りに関わられた中心人物の一人であります。

また新島学園と国際基督教大学とは、本学初代理事長・校長であり、ICU初代学長であった湯浅八郎氏によりお互いの原点が繋がっていることも忘れてはならない点です。「Not

another school, but only this school」という創設時に送ったメッセージは両校で共有している今も生きている言葉であります。

是非このことを憶え新たな体制で臨む新島学園を皆さんで応援いただきますようお願い申し上げます。

さて、本年度第1回評議員会冒頭の挨拶で「後々振り返った時に、この一年」を乗り越えたこと、で今の新島学園がある、という年にしたい」とお伝えしました。

この発言の背景には、3か年に亘って活動をしてきた創立70周年記念事業の終焉と、それにとって代わる新たな歩みである10年ビジョン「NIJIMAGAKUEN GRAND DESIGN 2027：木を育てる。」を機に、新島学園のソフト面・ハード面の再整備を目標に大きく動き始めたタイミングであり、とても大切な一年であると捉え、今後自ら積極的にこの流れを推進していくために改めて申し上げます。

また今年、これまで学園の伝統を築いてきた功労者である第三代理事長が、国内の宣教師として新島学園を含め上州安中を中心に大きな働きをされたハーバート・J・ベークン先生が続けて永眠され、その多大なる功績をそれぞれ憶えつつも新島学園にとってこれほど深い悲

しみを共にする節目の年は無いのではないかと思っております。このような中であって、6月末に本学元教員による刑事事件が発生してしまいました。このことに関しまして、日頃母校・新島学園の歩みを支えて下さる根笹会の皆さんに多大なるご迷惑とご心配をお掛けしてしまいまして、学園を代表致しまして心からお詫び申し上げます。大切なお子様をお預かりし、最優先に守らなければいけないはずの立場にある者が犯した罪により、被害に遭われた方とご関係の皆様を傷付け、在校生や保護者の皆様、日頃応援いただく根笹会の皆様、常に祈りをささげて下さる教会関係者を含む多くの皆様の心にも大きな傷を刻み込んでしまいました。

このことは元教員自体の罪ではありませんが、私としては今回の事件は新島学園から生まれてしまった罪としてしっかりと関係者が心に刻み付け、「学園創立以来の危機」として受け止める必要があると認識しております。

「学園創立以来の危機」と申しましたのは、今回の事件のインパクトが新島学園だけに限らず日本の私立学校にとって、そしてキリスト教学校の歴史の中でも大変大きな影響があると共に、万が一この事件が生まれてしまった背景に現在の「学園の風土」に何かしらの要因があると

するならば大変大きな問題であり、このことこそが「学園創立以来の危機」以上に「学園存続の危機」であると言えます。

この危機意識を関係者一人ひとりがしっかりと心に刻み付け、受け止め、決して逃げることなく真正面から向き合い、誠心誠意祈りを重ね尽くし続け、そして改めて気を引き締めて学園の真の再生に向けて一丸となつて奔走すべき時であると考えます。

今後の対応につきましては、まずは前述のことを踏まえつつ、現在一番傷つかれている方々のお気持ちを最大限憂慮し、寄り添わせていただくことに力を注がせていただいております。

学園として初めてステークホルダー以外のメンバー（弁護士、キリスト教学校教員、新島襄理解者、臨床心理士、公立学校管理職経験者、補助員数名）で構成する第三者委員会を設置し、今回の事件が何故学園から生まれてしまったのか直接的・間接的原因究明と再発防止策等の提言含む報告に向けて現在調査活動を進めております。

また学内においても検討委員会を組織し、第三者委員会の最終報告をもって速やかに実施できるような体制づくりも同時に進めて参ります。

期せずして、今後の10年ビジョンの中で新島学園の再整備を行うとお約束し、新たな歩み

を始めている中であって、今回の大きな変動が起こったことで再整備という言葉が大変大きな意味を持つようになっております。

この中で今後は特に関係者の中で普段語り合うことが少なくなっております。「建学の精神」と「教育の五原則」を通して実現する「良心教育」について真の理解が求められてきます。

70周年記念事業の中で語り、理解を求めてきた新島学園の歴史・文化・時間軸についても更に理解を深めていく必要があります。

5年前に第5代理事長として就任させていただきました時に掲げた基本方針の意味も再度確認していかなければなりません。

◆ 第5代理事長 基本方針

「No Place like Niijima」

◆ 概念

人生の根底に触れる学び

舎（作り）

◆ 構想

本物の新島学園づくり

◆ 使命

伝統を守る（原点の確認）

伝統を活かす（新しい価値の創造）

心構え

◆ 本物・本質

本物・本質

明治15年7月15日に原市にて新島襄が送った大切なメッセージ「地方教育論」では、教育の東京一極集中体制を批判し、地方でこそ有志が学び舎を起し、その地を担う人物を養成すべきである。その後学びを終えた者はどんな立場であろうと平時はその任を全うし後人の手本となるべきだが、万一何か事が起きた時には立場や身分を超えて自ら率先して事に当たるべき、とあります。

現在新島学園は困難の時を与えられていますが、このような時にこそ様々な立場の方がそれぞれの立場を超えて率先して母校を支えるべく行動に移して下さっております。まさに新島襄の「地方教育論」の中で求める人物の行動であると誇りに思います。それぞれのお気持ちによって支えられていることに対して改めて深く感謝を申し上げます。

根笹会の皆さんには是非今後母校・新島学園と共に歩んでいただけたら幸甚に存じます。どうぞ引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

最後に、この1月に永眠した第三代理事長であり、父であった湯浅太郎の信仰に纏わる話に触れて締めたいと思います。

父が亡くなった後に悲しむ暇もなく慌ただしく家族葬の準備をしている中で、司式を依頼し

た安中教会の江守牧師と打ち合わせをしている際に、「太郎さんは康毅さんにとってどんな人でしたか？」と訊ねられました。無口な人でしたので暫くの間、考えているとふと「忍耐の人であった」と自然と言葉が出てきました。すかさず江守先生が「それはローマの使徒への手紙第5章の一説のようだね。」と返されました。

その後葬儀の次第制作に必要な本人の教会員原簿内の愛唱聖句を確認してみるとまさに「ローマの使徒への手紙第5章3-4節」の箇所である「苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生む」という聖句を生前自ら選んでいたことがわかりました。

これまで信者としての父の姿はあまり思い浮かばなかったのですが、息子から見た父の生き方が自身の愛称聖句の如く、苦しくとも忍耐を伴うことがあっても神に祝福された生き方であったと父亡き後に知ることが出来、改めてこの導きと恵みに感謝した次第です。



2019年度総会より

新たななる出発、今思うこと



新島学園中学校・高等学校 校長 古畑 晶

私は、4月1日に新校長に就任しました古畑晶と申します。よろしくお願ひ致します。

私は、以前ICU（国際基督教大学）高等学校で数学の教員としておりました。

今から約40年前、日本が高度成長期に入り海外で活躍する日本人が増えました。

しかしながら、その子女を受け入れる日本の学校がありませんでした。そこで、ICUに帰国子女受け入れの学校を創って欲しいとの要望があり、ICU高校が設立されました。

帰国生徒の人数をどのくらいにするかが問題になりましたが、全校の2/3を帰国生徒、全校の1/3を一般生（国内生）が理想的であると判断し、決定しました。帰国生と一般生が、学びを共にし、お互いの違いを理解し合い、切磋琢磨して成長するとの理念で設立しました。

帰国生徒といっても、英語圏の生徒ばかりではなく、フランス語圏、ドイツ語圏、スペイン語圏、中国語圏など多様な国か

ら帰国した生徒たちです。言葉だけでなく、文化も生活も違う国から帰国し、一緒に学ぶのです。考え方も違ふし、複数の国々を経由して返って来た生徒たちもたくさんいます。生まれてはじめて、日本の教育を受ける生徒もいます。私たち教員も、このような生徒たちから多くを学ばせてもらいました。

このような生徒たちなので、授業も同一レベルのクラスで勉強することはできません。

4つのレベルに分けて授業をします。最上の英語のクラスは、日本の国語のクラスのように、英語の小説を読んだり、エッセイを書いたりします。一般生も、英語の能力が高い生徒が多いのですが、上のクラスに入ることにはできませんので、自分の能力を高める余地があることを知るのです。

逆に、数学などで大変な思いをする帰国生もおります。海外では、ある分野を、かなり深く掘り下げて勉強するシステムを取っているようです。日本のよ

うに基本的な内容を幅広く教える制度になっていないのです。

そこで、クラス分けのテストでは、なかなか点数が取れず下のクラスに入ってしまうことが多いのです。しかしながら、能力の高い帰国生は、順応性が高く、すぐに上のクラスに上がっていきます。帰国生は、いろいろな困難を乗り越えてきた生徒が多いので、能力的にも、適応力という意味でも優秀な生徒が多いと思います。このような学校に、設立当初から関わってまいりました。

面白いエピソードをご紹介します。開学に近い頃、野球部を設立することになりました。一般生は、丸刈りにして気合いを入れて部を強くしようと主張しました。一方、帰国生は、そんなことでは強くないと言って、長髪で練習をやるうとしたそうです。それぞれの主張がすれ違ったのですが、お互いに話し合っ、妥協点を見いだしたそうです。

日本を出たことのない者は、なかなか他国の人たちの考え方が理解できないものですが、海外に出たら違う考え方もあることを知らなければなりません。予想もつかないことがあります。彼らなりに意見が戦わさあつて結論を出していく、その姿勢が大切だと思います。新島学園の生徒たちにも、そのよう

な柔軟性を持つてほしいと思います。

ICU高校で得たいろいろな知識を新島学園でも生かしていけたらと思っています。

新島学園をはじめて訪れたのは、クリスチャンの仲間と安中を旅して、学校見学をさせていただいたことでした。そのとき、岩間校長先生に学園を案内していただきました。はじめの印象は、生徒がフレンドリーで気持ちよく挨拶をしてくれたことでした。また、礼拝堂が素晴らしかったという印象でした。生徒も教員もここで礼拝が出来ると幸せだと思っていました。その当時は、新島学園で校長をするなど想像もしていませんでした。今回校長になって、不思議な神の導きを感じました。新島学園、同志社大学、ICUは、実に関係の深い学校であるということでした。安中をゆかりの地とする教育者・信仰者であった湯浅八郎博士が同志社大学の総長を務め、戦後ICUの創立に携わり学長・理事長を務められました。この安中の地で新島学園を創設し、初代校長として、また理事長として地域の教育に心を砕かれたことを知り感動しました。私も、何かお役に立てればと思ひ、全力を尽くすつもりでおります。

ました。岩間前校長先生の跡を継いで、「一人ひとりを大切にす」教育を継承して行こうと思っています。

新島学園に来て、クラブ活動や、様々な活動に励んでいる生徒たちを見て、とても才能のある生徒たちが多いことにびっくりしました。また、このような生徒たちを先生方が良く指導していることにも感心しました。このように活動を、きちんと発表し、文章に書くことができればAO入試などでも良い成果を上げることができるのではないかと思います。自分の良さを、もう少し自信を持って主張することができれば更によいのではないかと思います。今年、学園祭の年であり、様々な出し物を見せてもらいました。聖歌隊の賛美やハンドベル、演劇部の演技、管楽団や弦楽団の演奏、に魅了されました。普段の練習の成果が出せるよい機会だと思いました。また、運動部の生徒たちも頑張っています。ソフトボール部は、今年のインターハイで優勝するほどの実力です。しかしながら、運動部の生徒は、きちんと学業成績もとっていないと、練習に出してもらえないとのことです。さすが文武両道の学校です。

授業では、工芸教室を行っていました。現代は、使い捨ての時代だと言われています。安価な粗悪品を使い捨て、地上にゴミを増やす時代です。それによって、生態系も変わってしまっています。神は、人をこの地上を守るようにお造りなされたのです。単にものを作るだけではなく、愛着を持って作品を大事にするという心を育てることが重要だと思います。

高校では、進路指導の一環としてキャリア教育を行っていただきます。様々な施設を訪問したり、大学訪問や講演会などを行っています。

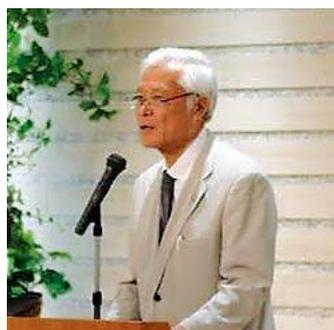
また、グローバルプログラムとして講演会、海外留学やエンパワープログラム、セブ島の英語研修など多彩なプログラムが用意されています。

更に、2学期からの新たな学園の取り組みを楽しみにしております。

今年度の学園年間聖句を記します。

「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。」(マタイによる福音書6章33節)

私たちは、いつも『何を食べようか』『何を飲もうか』『何を着ようか』と心を煩わせています。神は、すべてのものを備えてくださるのです。神を信じる者には、最上のものをくださるのです。



2019年度総会より

最後に、新島学園の元教員による不祥事のために同窓生の方々に大変ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。第三者委員会を立ち上げ、学園を刷新して行く覚悟でありますので、ご支援賜りますようよろしくお願いいたします。

「学園だより」に書かせて頂いた「フランシスコの平和の祈り」をもつてご挨拶とさせていただきます。

フランシスコの平和の祈り

主よ、わたしを平和の器とならせてください。
憎しみのあるところに愛を、争いのあるところに許しを、分裂のあるところに一致を、疑いのあるところに信仰を、誤りがあるところに真理を、絶望があるところに希望を、闇あるところに光を、悲しみあるところに喜びを。
ああ、主よ、慰められるよりも慰める者としてください。

理解されるよりも理解する者に、愛されるよりも愛する者に。それは、わたしたちが、自ら与えることによって受け、救すことで救され、自分の中からだをささげて死ぬことによつてとこしえの命を得ることができるところからです。

恩師探訪

『新島学園同窓会の立役者』

岡 賢 先生

第32期生 星野伸樹



8月12日の午後、岡賢先生のご自宅におうかがいたしました。学園の5期生でいらつしやる先生は草創期の新島学園で学び、大学を卒業してすぐに奉職されました。【新島学園の発

展】をまさに体験し、目の当たりにされています。『新島学園のことで、知つてゐることは何でも話すよ』と豪快に笑うその姿は、さすがの親分肌。いつも通りのウィットに富んだ語り口で、あつという間に2時間が過ぎました。私も生徒だった時代から、かつての体育教官室に多くの卒業生が集う姿を目にしておりました。そして、ここが実質的な同窓会室であることをなんとなく感じておりました。そこを舞台に語られる、代々の同窓会長の思いやその活動が結実し、徐々に現在の姿になっていくお話は、まさに【新島学園同窓会長列伝】

といえるものでした。私たちにとつては、まさに学園同窓会成り立ちの歴史物語であり、当時のバンカラな校風を知るOBの方々にとつては、涙が出るほど懐かしい体験談だろうと思ひます。

また、なんといっても『ソフトボール部創部』の裏話は、非常に興味深いものでした。当時はサッカー部の黄金時代で、全国大会で3位になるなど全国レベルで大活躍でした。そうした中での船出ですから、選手はもちろん先生ご自身にもサッカー部に対してのライバル心が強くあつたそうです。創部当時のメンバーは、岡先生が評するに『多士済々で怖いもの知らず』、強豪校相手にも全くひるまずに向かつていったそうです。創部2年目での全国優勝も、そうした特徴を生かした戦略が功を奏した結果だと思ひます。まさに今年度(2019年度)ソフトボール部はインターハイで14年ぶり6度目の優勝をいたしました。こうしたメンタルの強さは、今に続く新島学園ソフトボール部の伝統として脈々と受け継がれていることをあらためて感じました。

こうしたお話を語る岡先生は終始にこやかで、『新島学園の関係者に支えられていた』と話されておりました。実際に学園の関係者や卒業生は様々なところで

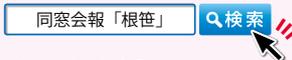
活躍しており、その多様性こそが新島学園の最大の魅力であり、強さなのだと思います。実は、先生は昨年大きな手術をお受けになりました。術後の経過も良好で、今では全く問題なくお過ごしです。その時の執刀医が、偶然にも新島学園の卒業生で、しかもソフトボール部のOBだったのだそうです。おそろく執刀医の方も大きな緊張感とともに、心に残る手術だったのではないのでしょうか。

と、「自宅は鉄道の駅が近く、自転車があればことが足りる」「他人から言われる前に自分が乗らないことを決断し行動することが大切」と語つておられたことが、いかにも岡先生らしく印象的でした。

ご自身の輝かしい経歴には全く触れずに、学園を愛しその成長のプロセスを笑顔で語るその姿にお人柄を感じずにはおれませんでした。そして、そうした姿がソフトボールを通じて全国的に、いや世界的に岡先生の信奉者が存在する所以だと思ひます。いつまでもお元気でご活躍いただけることをお祈りしております。

お知らせ

これまでの同窓会報『根笹』のバックナンバーは、同窓会のホームページ(<http://www.neesima-dosokai.jp/>)からご覧いただけます。



【『根笹』最近掲載の主な寄稿文】

第49号

◎「新島学園との出会い、それから」

元新島学園中学校・高等学校教師

21期生 小瀧 秀夫

第50号

◎創立70周年を迎え 新島裏の原点に立ち返り、新たな行動指針で臨む

新島学園 中学校・高等学校校長

岩間 秀彬

第51号

◎改めて『新島学園のキリスト教教育』を考える

学校法人新島学園 理事長

湯浅 康毅

◎変化の中の新島学園中学・高校と将来の方向

新島学園中学校・高等学校 校長

岩間 秀彬



新島学園同窓会 根笹会
広報委員
田中美香(29期)

第31回学園祭が、6月15日(土)・16日(日)2日間に渡って行われました。

初日はあいにくの雨模様だったにもかかわらず1925人の方が来場。

2日目は、晴天に恵まれ、9時のオープン前には、すでにゲート前に長蛇の列が出来る盛況ぶり、来場者数は2757人と2日間で5000人近い方に来ていただき、とても賑やかな学園祭となりました。

今回のテーマは『NIJIMA's Ark - 新たな時代に舵をとれ』。Arkとは英語で旧約聖書に出てくる『ノアの箱舟』を意味する言葉で、一昨年70周年を迎えてから最初の学園祭で、まさに新島学園という箱舟に乗り込んだ仲間たちが、これから、80周年、90周年と新たな時代へと共

に進んでいく様子を表しているそうです。

ゲートをくぐると、パンフレットを渡してくれる担当の生徒さんと先生が笑顔で迎えてくれました。

ご存知の通り、迷路のような本校舎には数多くの案内所が設けられ、行きたい所へ行けないご父兄や一般の方々に案内係の生徒さんがこやかに対応していました。

冷たい雨の中、雨カッパを着て懸命に空き駐車場を案内してくれた中学一年生も含めて、担当の仕事それぞれ頑張る姿に、とても好感がもてました。

各教室には、それぞれ趣向を凝らした展示がありました。なかでも「山岳部」はインターハイなどの輝かしい成績年表と共に、数多くの素晴らしい写真があり、とても感動しました。

すっかりお馴染みとなった家庭科部の美味しいお菓子、伝統の天文部のプラネタリウムも健在でした。

お弁当販売やスキー部恒例の喫茶店としてにぎわったフィリアホール（校舎1階）の入口では、富士スピードウェイで開催された軽自動車エコラン（軽自動車）競技で活躍した、二台の七五三（七五三）太号が展示されていました。

今回、フィリアホール内に設けられた『同窓会の部屋』には、20期の善如寺さんからお借りし

た、貴重なフラスコ画が特別展示されました。

元学園の音楽講師だった善如寺さんのお母様、故永井綾子先生のご自宅、永井家(碓氷郡坂本)では、明治29年より日曜学校が開校され、その時に子供達にキリスト教を教えるために用いられた米国製聖画掛絵はなんと200点以上、明治から大正にかけてのキリスト教史の大変貴重な資料だと思われま

も、大変珍しいフラスコ画を鑑賞なさっていました。

同窓会の部屋には、幅広い年齢層の同窓生が多数おとずれ、32期卒業生である星野教頭の案で設けられた、期ごとに名前を記入するサインボードでは、来場された方のお名前を確認する事が出来、中には何十年ぶりの再会も実現しました。

同窓生に飲み物を提供してくれる係の生徒さん達もとても明るく、昔も今も相変わらず、学

園生活を心から楽しんでる様子が伝わってきました。

私は学園祭を通して、学園で過ごした6年間を懐かしく思い出すと共に、新島学園同窓会の役員として、今も関わらせていただけることに、感謝の気持ちでいっぱいです。

80周年、90周年、そして100周年へ向けて、新島学園のさらなる発展を心からお祈りしつつ、2年後の学園祭を楽しみにしています。



第31回学園祭『NIJIMA's Ark - 新たな時代に舵をとれ』より

2019年度 同窓会理事・ 評議員会（総会）開催

期日 2019年6月6日(木)
会場 マリエール高崎



〈地区根笹会〉開催状況

地区	開催日	場所	参加人数
吾妻根笹会	—	—	—
東京根笹会	2018年7月6日(金)	有楽町電気ビル日本外国特派員協会	100名
安中根笹会	2018年7月7日(土)	並木苑	105名
高崎根笹会	2018年10月5日(金)	ディア・フィオーレ・マリエール高崎	96名
前橋根笹会	—	—	—
富岡かんら根笹会	2018年11月11日(日)	アミューズ富岡	47名
伊勢崎・佐波根笹会	2018年5月13日(日)	伊勢崎プリオパレス	21名
桐生根笹会	—	—	—
埼玉根笹会	—	—	—
軽井沢根笹会	—	—	—

〈地区根笹会〉2019年度開催（予定）

地区	開催日	場所
吾妻根笹会	未定	—
東京根笹会	中止	—
安中根笹会	2019年7月6日(土) 18時30分	並木苑
高崎根笹会	2019年10月4日(金) 18時00分	ディア・フィオーレ・マリエール高崎
前橋根笹会	2019年10月26日(土) 18時00分	レストランテ チニョ
富岡かんら根笹会	2019年11月9日(土) 18時00分	アミューズ富岡
伊勢崎・佐波根笹会	2019年6月29日(土) 18時30分	伊勢崎プリオパレス
桐生根笹会	2019年9月28日(土) 17時00分	桐生プリオパレス
埼玉根笹会	—	—
軽井沢根笹会	未定	—

〈同期会〉

期	開催日	場所	参加人数
47期	2018年6月9日(土)	ホテルメトロポリタン高崎	65名
14期	2018年6月9日(土)～10日(日)	上野村不二屋旅館	15名
43期	2018年6月30日(土)	居酒屋 羅珈垂樹	37名
6期	2018年9月6日(木)～7日(金)	伊香保温泉・清観荘	26名
5期	2018年10月13日(土)～14日(日)	ホテル磯部ガーデン	21名
17期	2018年10月13日(土)	伊香保温泉・旅館ふくぜん	30名
25期	2018年11月3日(土)	グランビュー高崎	32名
56期	2018年11月3日(土)	ホテルメトロポリタン高崎	55名
32期	2019年1月5日(土)	新島学園中高・並木苑	25名



2018年度 第27回 根笹賞 受賞団体・個人一覧

高等学校の部

	名称(部活動名等)	名 前	学 年	大会名	種 目	結果
1	特別賞団体 演劇部			第54回関東高等学校演劇研究大会		優良賞
2	ソフトボール部			2018年度 関東高等学校男子ソフトボール選手権大会		優 勝
3	女子陸上競技部			第71回群馬県高等学校対抗陸上競技大会	女子総合	優 勝
4	バドミントン部			第69回群馬県高等学校新人バドミントン大会	男子学校対抗戦	準優勝
5	特別賞個人 ソフトボール部	小野寺翔太	3年D組	WBSC第12回世界男子ジュニアソフトボール選手権大会inカナダ	準優勝	
6	特別課外活動(馬術競技)	石井飛雄梧	3年C組	第73回国民体育大会	少年ダービー競技	第5位
7	陸上競技部	櫻井杏樹	3年C組	第53回群馬県高等学校総合体育大会陸上競技	女子400m	優 勝
8	陸上競技部	中里見咲璃	2年E組	第71回関東高等学校陸上競技大会	女子5000mW	優 勝
9	陸上競技部	清水璃乃	3年E組	第71回関東高等学校陸上競技大会	女子400mH	第4位
10	陸上競技部	竹井智香	3年E組	第71回群馬県高等学校対抗陸上競技大会	女子800m	優 勝
11	陸上競技部	黒澤瑛紀	2年E組	平成30年度群馬県高等学校新人陸上競技大会	男子3000mSC・5000m	優 勝
12	バドミントン部	中島亜紀	2年D組	JOCジュニアオリンピックカップ第37回全日本ジュニアバドミントン選手権大会群馬県予選会	女子ダブルス	優 勝
13	バドミントン部	河野鈴佳	2年C組	JOCジュニアオリンピックカップ第37回全日本ジュニアバドミントン選手権大会群馬県予選会	女子ダブルス	優 勝
14	バドミントン部	津金澤泉樹	2年A組	第69回群馬県高等学校新人バドミントン大会	男子ダブルス	準優勝
15	バドミントン部	原田悠真	1年C組	第69回群馬県高等学校新人バドミントン大会	男子ダブルス	準優勝
16	特別課外活動(水泳)	宮本英明	3年A組	平成30年度関東高等学校水泳競技大会群馬県予選会	男子50m自由形	優 勝
17	特別課外活動(群馬県高等学校総合文化祭)	渡邊千咲子	2年D組	第24回群馬県高等学校総合文化祭生徒実行委員会		委員長
18	奨励賞個人 特別課外活動(水泳)	瀧野 悠	3年E組	平成30年度関東高等学校水泳競技大会群馬県予選会	男子50m自由形	4 位
19	特別課外活動(新島論文)	清水 翔	3年D組	2018年度新島襄生誕176年記念学生・生徒懸賞論文「良心教育と労働運動」		優秀賞
20	特別課外活動(新島論文)	北野菜々恵	3年E組	2018年度新島襄生誕176年記念学生・生徒懸賞論文「新島襄が社会福祉事業に与えた影響」		佳 作

中学校の部

	名称(部活動名等)	名 前	学 年	大会名	種 目	結果
21	特別賞団体 演劇部			第46回並びに第47回群馬県中学校演劇祭		最優秀賞
22	ソフトボール部			第40回全国中学校ソフトボール大会	男子	第3位
23	バスケットボール部			第53回群馬県中学校総合体育大会 第71回バスケットボール大会	男子	第3位
24	特別賞個人 特別課外活動(フェンシング競技)	齋藤幸海	3年B組	第4回全国中学生フェンシング選手権	団体	優 勝
25	写真部	楠本文	3年A組	第4回朝日中学生高校生フォトコンテスト	個人	大 賞
26	特別課外活動(作文)	相馬 歩	1年A組	警察庁主催「命の大切さを学ぶ教室 全国作文コンクール」	個人	優秀賞
27	ソフトテニス部	小林彩奈	3年E組	第48回関東中学校ソフトテニス大会	ダブルス	優 勝
28	ソフトテニス部	左近知美	3年D組	第48回関東中学校ソフトテニス大会	ダブルス	優 勝
29	バスケットボール部	松本大輝	3年E組	第31回 都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会2018	男子(群馬県選抜)	ベスト8
30	バスケットボール部	松本大輝	3年E組	第1回北関東U15バスケットボール交流大会	男子(群馬県選抜)	出 場
31	バスケットボール部	清水智矢	2年D組	第12回群馬県バスケットボール協会中学生都市選抜交流大会	男子(群馬県選抜)	優 勝
32	バスケットボール部	柄澤日向	2年A組	第12回群馬県バスケットボール協会中学生都市選抜交流大会	男子(安中市選抜)	優 勝
33	バスケットボール部	金子 奨	2年B組	第12回群馬県バスケットボール協会中学生都市選抜交流大会	男子(安中市選抜)	優 勝
34	バスケットボール部	古矢大空	2年C組	第12回群馬県バスケットボール協会中学生都市選抜交流大会	男子(安中市選抜)	優 勝
35	陸上競技部	矢島好逢	1年C組	第49回ジュニアオリンピック陸上競技大会群馬県予選会	1年女子800m	優 勝
36	特別課外活動(水泳)	野村真紘	2年A組	第58回全国中学校水泳競技大会群馬県予選	男子200m平泳ぎ	優 勝

2018年度同窓会決算報告

一般会計

2018年度 収支決算書

(2018.4.1~2019.3.31)

(単位:円)

科目	予算額	決算額	予算差異	備考
前年度繰越金(1)	3,530,791	3,530,791	0	
同窓会費収入	2,130,000	2,130,000	0	10,000×213名(2018年度卒業生) 67期生
名簿代収入	0	24,000	24,000	4,000円×6冊
利息収入	1,000	1,042	42	定期1,017円普通25円
雑収入	280,000	1,087,000	807,000	総会参加費・根笹広告料
収入小計(2)	2,411,000	3,242,042	831,042	
収入合計(1)+(2)	5,941,791	6,772,833	831,042	

支 出

(単位:円)

科目	予算額	決算額	予算差異	備考
印刷費	10,000	142,378	132,378	同窓会報根笹印刷費
会議費	550,000	545,323	▲4,677	総会・役員会・講話会
事務費	120,000	96,136	▲23,864	レヒール紙16,848円使用料79,288円
消耗品費	10,000	5,649	▲4,351	ファイル代
遠征費補助金支出	250,000	205,000	▲45,000	部活動大会出場補助
同窓会等助成金支出	300,000	250,000	▲50,000	各期同窓会8期分・地区根笹会補助7地区
旅費交通費	10,000	8,820	▲1,180	
通信費	100,000	82,468	▲17,532	電話料金・郵便代等
根笹編集関連費	260,000	320,798	60,798	ホームページ108,000円 根笹212,798円
同窓会主催事業費	770,000	435,216	▲334,784	70周年記念事業・サマーコンサート等
学園祭協賛金	0	0	0	
雑費	50,000	83,219	33,219	短大同窓会祝金・県下高校OBゴルフ等
予備費	30,000	840,000	810,000	根笹基金振替
支出小計(4)	2,460,000	3,015,007	555,007	
当年度収支差額(2)-(4)	▲49,000	227,035	276,035	
次期繰越(5)	3,481,791	3,757,826	276,035	
支出合計(4)+(5)	5,941,791	6,772,833	831,042	

注:予算差異の▲は、予算未達成を意味する。

一般会計

2019年度 収支予算書(案)

(2019.4.1~2020.3.31)

(単位:円)

科目	前年度決算額	予算額	増 減	備考
前年度繰越金(1)	3,530,791	3,757,826	227,035	
同窓会費収入	2,130,000	2,220,000	90,000	10,000×222名(2019年度卒業生)
名簿代収入	24,000	0	▲24,000	
利息収入	1,042	1,000	▲42	前年実績
雑収入	1,087,000	2,000,000	913,000	総会参加費・根笹広告料・寄付金
収入小計(2)	3,242,042	4,221,000	978,958	
収入合計(1)+(2)	6,772,833	7,978,826	1,205,993	

支 出

(単位:円)

科目	前年度決算額	予算額	増 減	備考
印刷費	142,378	150,000	7,622	根笹印刷費
会議費	545,323	550,000	4,677	総会費・会議費
事務費	96,136	100,000	3,864	コピーリース料・使用料
消耗品費	5,649	10,000	4,351	
遠征費補助金支出	205,000	250,000	45,000	部活動大会出場補助
同窓会等助成金支出	250,000	250,000	0	同窓会・地区根笹会補助
旅費交通費	8,820	10,000	1,180	事務局関係旅費
通信費	82,468	100,000	17,532	電話料金・郵便代等
根笹編集関連費	320,798	330,000	9,202	ホームページ更新料・根笹作成料
同窓会主催・共催事業費	435,216	1,914,020	1,478,804	新島学園サマーコンサート・根笹送付費用等
学園祭協賛金	0	300,000	300,000	
雑費	83,219	50,000	▲33,219	
予備費	840,000	30,000	▲810,000	
支出小計(4)	3,015,007	4,044,020	1,029,013	
当年度収支差額(2)-(4)	227,035	176,980	▲50,055	
次期繰越(5)	3,757,826	3,934,806	176,980	
支出合計(4)+(5)	6,772,833	7,978,826	1,205,993	

注:予算差異の▲は、前年度実績を下回る予算額を意味する。

収支決算 財産目録

(単位:円)

資産の部	決算額
現金	79,048
普通預金 群馬銀行/安中支店 No.446478	3,678,778
繰越金残高計(a)	3,757,826
固定性定期預金 群馬銀行/安中支店 No.368546(b)	12,000,000
正味財産(a)+(b)	15,757,826

予算案 財産目録

(単位:円)

資産の部	前年実績	予算額
現金	79,048	0
普通預金 群馬銀行/安中支店 No.446478	3,678,778	3,934,806
繰越金残高計(a)	3,757,826	3,934,806
定期預金 群馬銀行/安中支店 No.368546(b)	12,000,000	12,000,000
正味財産(a)+(b)	15,757,826	15,934,806

根笹基金

2018年度 収支決算書 (2018.4.1~2019.3.31)

収 入

(単位:円)

科目	決算額	備考
前年度繰越金	15,953,386	定期預金 15,000,000円 普通預金 953,386円
寄附金収入	990,000	同窓会 840,000円 ゴルフ 150,000円
利息収入	1,280	定期預金利息 1,271円 普通預金利息 9円
雑収入	0	
収入小計(1)	991,280	
合計	16,944,666	

支 出

(単位:円)

科目	決算額	備考
褒賞費	240,000	ギフトカード
賞状代	1,950	賞状代
雑費	540	残高証明書
支出小計(2)	242,490	
当年度収支差額(1)-(2)	748,790	
次期繰越金	16,702,176	
支出合計	16,944,666	

根笹基金 財産目録

(単位:円)

資産の部	金額
普通預金 群馬銀行/安中支店No.741658	1,702,176
定期預金 群馬銀行/安中支店No.378360	15,000,000
正味財産	16,702,176